

# 平成28年度廃棄物系バイオマス利活用導入促進のための説明会(東京会場)

2017.01.24.Ver

環境省

廃棄物資源循環学会

【趣旨】 廃棄物系バイオマスの利活用は、循環型社会の形成だけでなく、温室効果ガスの排出削減により地球温暖化対策にも資することから、地域の特性に応じた適切な再生利用等を推進することが必要である。環境省では、その推進を図るべく、市町村等によるバイオガス化システムの普及加速化に向けた取組等を進めているところである。このたび、市町村等の担当者等を対象にして、環境省による取組や市町村等の事例の紹介等を通じて、バイオガス化システムに係る普及啓発を図るための説明会を開催する。廃棄物系バイオマスの利活用を検討中の市町村等の担当者をはじめ廃棄物処理に関わる関係者はぜひご来場いただき、活発なご議論からより良いシステムの構築を図りたい。

【主催】 環境省、廃棄物資源循環学会

【日時】 2017年2月7日(火) 9:50~17:10 (受付は9:20より開始)

【会場】 日本大学理工学部駿河台校舎1号館2階121会議室(東京都千代田区駿河台1-8-14)

地図：<http://www.cst.nihon-u.ac.jp/campus/google.html>

【交通】 JR御茶ノ水駅、聖橋口改札出口より徒歩3分

【定員】 130名(自治体職員50名程度、民間セクター40名程度。研究者等40名程度。事前申込み制)

【会費】 説明会無料 懇親会1000円

【参加申込み】 学会ホームページ([http://jsmcwm.or.jp/?page\\_id=10789](http://jsmcwm.or.jp/?page_id=10789)) から申込みください

【プログラム】

9:50~10:00	開会の挨拶	廃棄物資源循環学会理事 酒井伸一(京都大学)
第1部		座長 酒井伸一(京都大学)
10:00~10:40	環境省における廃棄物系バイオマス利活用の方向性について	瀬川恵子(環境省廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課)
10:40~11:20	廃棄物系バイオマス利活用導入マニュアルの要点整理	伊藤恵治((一財)日本環境衛生センター)
11:20~12:00	メタンガス化施設整備マニュアル改訂案について	友田啓二郎(株東和テクノロジー)
12:00~13:00	昼食休憩	
第2部	事例紹介(プラント運転中)	座長 長田守弘(新日鉄住金エンジニアリング株)
13:00~13:20	南但地域の取組み	高岡好和(南但広域行政事務組合)
13:20~13:40	長岡市の取組み	武内豊(長岡市環境部)
第3部	事例紹介(プラント計画又は建設中)	座長 中村一夫((公財)京都高度技術研究所)
13:40~14:00	京都市の取組み	元部弥(京都市環境政策局)
14:00~14:20	町田市の取組み	田後真人(町田市資源環境部)
14:20~14:40	宮津与謝環境組合の取組み	井上正嗣(宮津与謝環境組合管理者、宮津市長)
14:40~14:50	休憩	
第4部	今後の展望	
14:50~15:10	観光客参加型食べ残しメタン発酵温泉エネツアーリズムの構築	多田千佳(東北大学)
15:10~15:30	廃棄物系バイオマス利活用の現状と今後の展開に向けた課題	中村一夫((公財)京都高度技術研究所)
15:30~15:50	廃棄物系バイオマス利活用の原則と単純焼却脱却への展望	酒井伸一(京都大学)
15:50~17:00	パネルディスカッション	
	コーディネーター：酒井伸一(京都大学)	パネラー：上記講演者
17:00~17:10	閉会の挨拶	瀬川恵子(環境省廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課)
17:10~19:00	意見交換会	